



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー
 コード番号 4922 URL <https://corp.kose.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 TEL 03-3273-1511
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	68,158	15.5	5,833	—	6,671	120.2	3,897	171.1
2022年12月期第1四半期	59,013	—	370	—	3,030	—	1,437	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 3,544百万円 (△20.9%) 2022年12月期第1四半期 4,480百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	68.32	—
2022年12月期第1四半期	25.20	—

(注1) 2023年12月期第1四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

(注2) 2021年12月期第1四半期は、当社及び3月決算であった国内連結子会社は2021年4月1日から2021年6月30日まで、12月決算であった連結子会社は、2021年1月1日から2021年3月31日までを連結対象期間としています。そのため、2022年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	353,405	274,691	73.1	4,530.35
2022年12月期	359,600	275,349	72.0	4,539.45

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 258,473百万円 2022年12月期 258,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	5.5	21,000	△5.1	20,300	△28.5	13,300	△29.1	233.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	60,592,541株	2022年12月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	3,538,727株	2022年12月期	3,538,707株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	57,053,821株	2022年12月期 1 Q	57,049,859株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関連)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年3月31日まで)

セグメントの名称	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	46,732	79.2	55,883	82.0	9,150	19.6
コスメタリー事業	11,828	20.0	11,758	17.3	△69	△0.6
その他	452	0.8	516	0.8	63	14.1
売上高計	59,013	100.0	68,158	100.0	9,145	15.5

区分	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	370	0.6	5,833	8.6	5,462	—
経常利益	3,030	5.1	6,671	9.8	3,641	120.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,437	2.4	3,897	5.7	2,459	171.1

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年3月31日まで)における日本経済は、マスク着用の自由化など新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、経済社会活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復基調が続きました。一方、物価上昇や海外経済の減速による景気の下振れ懸念は残ります。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済においては、中国では2022年12月にゼロコロナ政策が大幅に緩和され、景気に持ち直しの動きがみられます。それ以外のアジア経済では、回復基調が続いています。米国においては、労働市場や個人消費が堅調に推移し、米国経済の底堅さを示すも、高止まりする市場金利やインフレ率による景気後退懸念が依然として残ります。

日本の化粧品市場においては、行動制限の緩和による消費活動の再開により、着実に回復傾向にあります。アジアの化粧品市場においては、中国では、ロックダウンの解除後、期初は足踏みしたものの、足元では中国本土および海南島を中心としたトラベルリテールでの需要が回復傾向にあります。それ以外のアジア各国についても、一部地域では弱さがみられるものの、全体では回復基調にあります。米国の化粧品市場は、底堅い個人消費に支えられ、順調に成長しています。

このような市場環境の中、当社グループは中長期ビジョン「VISION2026」を推進しており、「世界で存在感のある企業への進化」を目指しています。当期は「PHASE II：世界での存在感拡大と更なる顧客体験の追求」の2年目に入り、基本戦略の下、グローバルな事業展開の促進、事業領域および顧客層の拡大、デジタルコミュニケーションの強化、成長を支える経営基盤の構築に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、中国や韓国において減収となりましたが、日本の百貨店・専門店チャネルにおけるハイプレスステージ、欧米を中心に展開する「タルト」が実績を牽引したことにより、売上高は前年同期比15.5%増の68,158百万円(為替の影響を除くと前年同期比10.6%増)となり、連結売上高に占める海外売上高の割合は39.4%となりました。

利益については、原価率および販管費率の低減により、営業利益は5,833百万円(前年同期から5,462百万円増)、経常利益は6,671百万円(前年同期比120.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,897百万円(同171.1%増)となりました。

化粧品事業においてはハイプレステージにおいて、「コスメデコルテ」が中国および韓国では苦戦しましたが、日本で引き続き好調に推移しました。それ以外のブランドでは、メイクアップブランドの「ジル スチュアート」、「アディクション」が伸長しました。欧米で展開する「タルト」は、主力商品や新商品の売上を伸ばしました。

プレステージの主力ブランド、「雪肌精」や「ONE BY KOSÉ」も回復基調にあります。これらの結果、売上高は55,883百万円(前年同期比19.6%増)となり、営業利益は6,460百万円(同256.9%増)となりました。

コスメタリー事業においては、コーセーコスメポート(株)が中国で苦戦しましたが、日本では堅調に推移しました。また、「ヴィセ」がメイクアップ市場の回復により好調だったため、売上高は11,758百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は474百万円(前年同期は498百万円の営業損失)となりました。

その他の事業は、ホテルやゴルフ場向けアメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加したため、売上高は516百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は194百万円(同5.9%増)となりました。

地域別売上高(外部顧客に対する売上高)

	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	36,557	61.9	41,309	60.6	4,752	13.0
アジア	14,082	23.9	12,659	18.6	△1,422	△10.1
北米	7,325	12.4	12,926	19.0	5,600	76.5
その他	1,047	1.8	1,262	1.9	215	20.6
売上高計	59,013	100.0	68,158	100.0	9,145	15.5

<日本>

日本は、百貨店・専門店チャネルにおけるハイプレステージは引き続き好調でした。ドラッグストアなどのマストチャネルにおいても、プレステージの主要なスキンケアブランドが回復基調にあります。その結果、売上高は41,309百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

<アジア>

中国では百貨店やトラベルリテールが回復傾向にある一方、Eコマースでは、3.8婦人節セールで実績が伸び悩みました。韓国のトラベルリテール事業は、流通側の仕入れ抑制により大幅な減収となりました。これらの結果、売上高は12,659百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

<北米・その他>

北米においては、タルトでは、SNSでのプロモーションを通じて新商品の売上が伸長したことから、プレステージメイクアップ市場において高い市場シェアを維持しました。また店舗数の拡大に加え、円安進行の影響により、売上高は12,926百万円(前年同期比76.5%増)となりました。その他(欧州など)では、タルトが売上を牽引し、売上高は1,262百万円(同20.6%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	116,535	115,072
受取手形及び売掛金	52,451	45,572
商品及び製品	37,165	40,093
仕掛品	2,853	3,033
原材料及び貯蔵品	29,058	29,236
その他	7,080	7,656
貸倒引当金	△664	△547
流動資産合計	244,481	240,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,458	52,490
減価償却累計額	△26,042	△26,553
建物及び構築物(純額)	26,415	25,936
機械装置及び運搬具	22,161	22,435
減価償却累計額	△17,226	△17,439
機械装置及び運搬具(純額)	4,934	4,996
工具、器具及び備品	45,920	46,352
減価償却累計額	△39,666	△39,989
工具、器具及び備品(純額)	6,254	6,362
土地	17,363	17,367
リース資産	10,431	10,531
減価償却累計額	△2,299	△2,509
リース資産(純額)	8,132	8,021
建設仮勘定	824	594
有形固定資産合計	63,923	63,278
無形固定資産		
ソフトウェア	4,619	4,671
のれん	4,356	4,140
その他	5,474	5,133
無形固定資産合計	14,450	13,945
投資その他の資産		
投資有価証券	17,979	17,174
退職給付に係る資産	10,296	10,531
繰延税金資産	4,524	4,488
その他	4,560	4,512
貸倒引当金	△616	△644
投資その他の資産合計	36,745	36,062
固定資産合計	115,119	113,287
資産合計	359,600	353,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,913	8,849
電子記録債務	18,383	19,811
短期借入金	1,361	500
リース債務	828	841
未払金	15,872	9,348
未払費用	10,919	11,070
未払法人税等	3,287	2,496
未払消費税等	1,476	1,283
返金負債	5,533	6,024
その他	2,004	2,105
流動負債合計	67,580	62,332
固定負債		
リース債務	7,793	7,752
繰延税金負債	4,416	3,937
その他	4,462	4,690
固定負債合計	16,671	16,380
負債合計	84,251	78,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	62	74
利益剰余金	240,147	240,050
自己株式	△9,082	△9,082
株主資本合計	235,975	235,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,766	6,209
為替換算調整勘定	10,770	11,065
退職給付に係る調整累計額	5,480	5,308
その他の包括利益累計額合計	23,017	22,582
非支配株主持分	16,356	16,217
純資産合計	275,349	274,691
負債純資産合計	359,600	353,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	59,013	68,158
売上原価	18,170	19,049
売上総利益	40,842	49,109
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	4,982	5,234
販売促進費	9,294	9,456
運賃及び荷造費	3,787	4,817
給料及び手当	12,060	12,084
退職給付費用	59	52
法定福利費	1,990	2,053
減価償却費	930	1,051
その他	7,365	8,524
販売費及び一般管理費合計	40,471	43,275
営業利益	370	5,833
営業外収益		
受取利息	37	387
受取配当金	1	2
還付消費税等	1	221
為替差益	2,512	233
雑収入	182	126
営業外収益合計	2,735	969
営業外費用		
支払利息	26	15
貸倒引当金繰入額	18	27
投資事業組合運用損	17	12
雑損失	14	75
営業外費用合計	76	131
経常利益	3,030	6,671
特別利益		
固定資産売却益	124	—
特別利益合計	124	—
特別損失		
固定資産処分損	51	26
減損損失	53	20
関係会社株式評価損	—	3
事業整理損	—	326
割増退職金	164	—
特別損失合計	269	376
税金等調整前四半期純利益	2,885	6,294
法人税、住民税及び事業税	1,661	2,658
法人税等調整額	△293	△337
法人税等合計	1,368	2,321
四半期純利益	1,516	3,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,437	3,897

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,516	3,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153	△556
為替換算調整勘定	3,212	307
退職給付に係る調整額	△96	△180
その他の包括利益合計	2,963	△428
四半期包括利益	4,480	3,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,347	3,462
非支配株主に係る四半期包括利益	132	81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りの仮定から重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	46,732	11,828	58,561	452	59,013	—	59,013
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	92	92	△92	—
計	46,732	11,828	58,561	544	59,105	△92	59,013
セグメント利益又は損失(△)	1,810	△498	1,312	183	1,495	△1,124	370

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	55
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,180

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
36,557	14,082	7,325	1,047	59,013

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	55,883	11,758	67,642	516	68,158	—	68,158
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	102	102	△102	—
計	55,883	11,758	67,642	619	68,261	△102	68,158
セグメント利益	6,460	474	6,935	194	7,129	△1,296	5,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	83
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,380

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
41,309	12,659	12,926	1,262	68,158

(収益認識関係)

収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象として
いることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の
所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりでありま
す。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	24,463	13,895	7,325	1,047	46,732
コスメタリー事業	11,641	186	—	—	11,828
報告セグメント計	36,105	14,082	7,325	1,047	58,561
その他(注)	400	0	—	—	400
顧客との契約から生じる収益	36,505	14,082	7,325	1,047	58,961
その他の収益	51	—	—	—	51
外部顧客への売上高	36,557	14,082	7,325	1,047	59,013

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでお
ります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	29,428	12,265	12,926	1,262	55,883
コスメタリー事業	11,365	393	—	—	11,758
報告セグメント計	40,793	12,659	12,926	1,262	67,642
その他(注)	464	0	—	—	464
顧客との契約から生じる収益	41,258	12,659	12,926	1,262	68,107
その他の収益	51	—	—	—	51
外部顧客への売上高	41,309	12,659	12,926	1,262	68,158

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでお
ります。